

## 2 猛禽類モニタリング調査

### (1) イヌワシ、クマタカについて

赤谷プロジェクトのモニタリング調査の一環として、赤谷の森に棲むイヌワシ・クマタカの2種類の大型猛禽類について継続して調査を実施してきました。

イヌワシ、クマタカは、生態系の頂点にたつアンブレラ種です。アンブレラ種が健全に繁殖・生息できる環境が保たれていることは、その傘下にある種の生育・生息環境も健全であると考えられています。そのため、プロジェクトでは生物多様性の復元に向けた取組みの中で、イヌワシ、クマタカを森林生態系における指標種として、これらの生息環境を保全するとともに彼らと共存・共生できる自然環境を復元することを目的として、現況を把握しながら将来にわたり調査・研究（モニタリング）を進めていくこととしています。



イヌワシ



クマタカ

### (2) 今年度の主な取組み

#### ①ワーキンググループ（WG）の開催

今年度のモニタリング状況・成果の確認やモニタリング基本方針の再設定等について検討するため、3回の会議を開催しました。

また、昨年3月に協定を更新し、今年度からは第2期となることから第1期の成果の取りまとめと今後10年間の目標の設定を行いました。



WGの会議風景

## ②ASTRによる定期調査の実施

WG座長の山崎 亨さんにより命名された猛禽類調査チーム「ASTR (Akaya Special Team for Raptors)」による調査活動を本年度も実施しました。

ASTRは、長年地元で猛禽類の観察を続けてきた群馬ラプターネットワーク及び旧新治村の自然を守る会の方々を中心にして構成され、当センター職員も構成員となっています。

赤谷プロジェクトをボランティアで支援するサポーターの中から猛禽類調査活動に関心のある方を対象に研修会を実施し、修了者はASTRメンバーとして登録される仕組みを作っています。

昨年度に続き今年度もセンター職員と地元在住のASTRメンバーが中心となって、定例調査を実施しました。



イヌワシのペア

## ③合同調査等の実施

連続するクマタカ隣接ペアの個体識別やイヌワシの行動圏把握等、調査の目的によっては、定期調査に比べ大人数で調査を実施しなければならない場合があります。このような場合は、日本自然保護協会等と協力しながら調査を実施しています。

今年度も日本イヌワシ研究会と赤谷プロジェクトの合同調査を4月～5月に実施することができました。

#### ④ A S T R 初回講習会の実施

猛禽類モニタリングの意義・目的、調査に参加するために最低限必要な基本事項を習得させるため、「いきもの村」にて1泊2日の行程で実施しました。

地元の地域協議会や関東森林管理局の若手職員も多数参加し、有意義な講習会となりました。



たくみ小屋での講習会風景

#### (3) 今年度の主な成果等

イヌワシについては、5月上旬に雛が確認されましたが、中旬にネスト（巣）が落下して跡形もなくなってしまい繁殖は失敗しました。隣接ペアについても抱卵から雛誕生まで確認できたもののその後巣立ちは確認できず繁殖は失敗しています。

本年度実施した日本イヌワシ研究会との2回の春の特設調査においては、貴重なデータが多数収集でき有意義な調査となりました。

クマタカについては、5ペアの繁殖状況を明らかにしました。本年度の繁殖は、確認されませんでした。

5ペアのうち1ペアについては、4月の抱卵から雛誕生までは順調と思われましたが、5月下旬に何らかの原因で不明となり、その後もネストに戻らず他のネストの利用や幼鳥の出現もなく繁殖失敗に終わっています。その他のペアについては、不明の幼鳥か若鳥が出現したことから、注意深く行動圏を継続的に調査しましたが、確定はできず繁殖していないことが確認できました。

#### (4) 来年度に向けて

これまでの調査活動で多くの成果を得ることができましたが、イヌワシ・クマタカの生態を確実に把握し、森林施業に反映するには、まだまだ多くの知見が必要です。来年度も定例・合同調査等に協力していきたいと考えます。

具体的には、自然環境モニタリング基本方針に則り、これまでと同様に①食性、②生息場所の利用、③繁殖状況、④地域個体群（隣接ペア）について次の項目で調査を行います。

- ①イヌワシ・クマタカの繁殖状況調査
- ②イヌワシ・クマタカのハンティング場所のデータ収集(重点ペアは合瀬)  
(夏緑広葉樹の落葉期及び積雪期におけるデータ含む)
- ③イヌワシ・クマタカの隣接ペアの継続確認
- ④クマタカの人工林（皆伐・間伐）の利用状況の確認

また、来年度から新たに取り組む①イヌワシのための試験地の検討②利用していない森林の把握とその森林環境の解析のための調査に協力します。



クマタカのペア（左が雄、右が雌）

(5) 調査活動状況 (赤谷センターが参加したもののみ)

内容	実施日		備考
WGへの参加	8月16日、1月21日、3月3日		
定例調査等の実施	4月：1日、5日、7日、12日、13日、18日、21日、25日、27日 5月：16日、19日、25日、31日 6月：14日、22日、26日、28日 7月：1日、6日、8日、14日 8月：5日、11日、25日、30日 9月：7日、13日、25日、27日 10月：6日、19日、26日、27日 11月：1日、9日、10日、28日、30日 12月：1日、7日、9日、13日、16日、18日 1月：9日、10日、18日、19日、24日 2月：2日、4日、8日、16日、17日、20日、22日、24日、28日 3月：1日、7日、13日、14日、19日、22日、24日、28日、31日	9日間 4日間 4日間 4日間 4日間 4日間 4日間 5日間 6日間 5日間 9日間 9日間	合計日間
ASTR合同調査の実施	4月29日～5月1日 5月6日～8日 6月10日～12日 9月10日～11日 10月8日～9日 12月10日～11日、23日、25日 1月28日～29日 2月26日 3月31日		} ワシ研との } 特設調査